

あしなが奨学金 無利子貸与 給付

たくさんの「あしながさん」が
進学を応援しています！

- 病気・災害・自死などで保護者が死亡、または障がい(1～5級)を負っている家庭の子どもが対象です。連帯保証人は保護者でかまいません。
- 奨学金は「無利子貸与+給付」型で、貸与部分は卒業後20年以内に返還。大学や専門学校在学中や事情があつて経済的に困難なときは、返還を先に延ばすことができます。
- 他の奨学金と同時利用できます。

高校奨学生募集(在学)

全学年対象

今年度から奨学金が利用できます

●奨学金月額

国公立＝4万5千円(うち 貸与2万5千円・給付2万円)

私立＝5万円(うち 貸与3万円・給付2万円)

●申請のしめきり (いずれも消印有効)

5月20日(1次) 9月30日(2次) 12月15日(3次)

※高校3年生の1次募集までに高校奨学生になった人を対象に、

大学等への進学仕度一時金制度(貸与40万円)もあります。

大学奨学生募集(予約)

大学・短大進学希望の3年生対象

●奨学金月額

7万円(うち 貸与4万円・給付3万円)または

8万円(うち 貸与5万円・給付3万円)

●申請のしめきり 6月20日(消印有効)

※私立大学入学一時金制度(貸与40万円)もあります

お問い合わせは…

フリーダイヤル

(0120)77-8565

〒102-8639 東京都千代田区平河町 2-7-5

砂防会館 4階 一般財団法人あしなが育英会 FAX (03)3221-7676



ASHINAGA
あしなが育英会

www.ashinaga.org

〈奨学金ご担当の方〉このチラシは個人への配付用です。必要部数を印刷して配付いただければ幸いです。

あしなが奨学金(無利子貸与)をぜひご利用ください

【対象となる方】 保護者（父または母など）が、病気や災害（道路上の交通事故を除く）、自死（自殺）などで死亡、または保護者が1級から5級の障がい認定を受けていて、経済的な援助を必要としている家庭の子ども。

●あしなが育英会の奨学金は、無利子で借りられる貸与奨学金と、返還の必要がない給付奨学金が合わさった「貸与+給付」型制度です。他の奨学金と一緒に利用できます。

高校奨学金の金額は、国公立高校生が月額4万5千円（そのうち貸与は2万5千円、給付は2万円）、私立高校生が月額5万円（そのうち貸与は3万円、給付は2万円）です。

貸与部分は無利子で、卒業の半年後から20年間かけて少しずつ返還していただきます。

たとえば、国公立の高校で月額4万5千円の奨学金を3年間利用した場合、貸与総額は90万円ですので、返済額は月4千円になります。大学や専門学校などに在学している間や、経済的に苦しい事情があって困難なときは、返還を先に延ばすことができます。

●大学などへの進学する際には、受験料や入学金・初年度授業料など多額の費用が必要です

あしなが育英会には大学奨学金（月7万円または8万円）、専門学校奨学金（月7万円）もありますが、これらは入学後の送金になります。入学前に借り受けられる「進学仕度一時金（貸与40万円）」制度は、高校3年生の1次募集までにあしなが育英会の高校奨学生となった生徒のみ対象です。該当者には8月に申請書を送ります。進学先が大学・専門学校いずれでも対象になります。

【奨学生募集しめきり】 ※いずれも消印有効

高校奨学金＝1次：2021年5月20日 2次：9月30日 3次：12月15日

大学奨学金予約＝2021年6月20日

※以下の登録申し込みカードの提出しめきりではありません

一般財団法人 **あしなが育英会** 〒102-8639 東京都千代田区平河町 2-7-5 砂防会館 4階
フリーダイヤル **(0120) 77-8565** FAX(03)3221-7676 www.ashinaga.org E-mail:shougaku@ashinaga.org

このカードは、あしなが育英会から申請書類をお送りするためのものです。

「登録申し込みカード」提出後に届く申請書類をあしなが育英会に郵送しないと、奨学金を申し込んだことになりません。ご注意ください。

あしなが奨学金のお知らせ送付用 登録申し込みカード		※お知らせの送付を希望する人は、以下にご記入いただき、あしなが育英会にFAXか郵送で送ってください。また、中学生以下の方についてもぜひ記入してください。その方が中学3年生になったときに奨学金のお知らせをお送りします。	
保護者氏名		続柄	母・父・祖父・祖母・他（ ）
住所	〒		電話
お子さんのお名前	現在の学年	生年月日（西暦）	案内が欲しい奨学金制度に○印（高校3年生のみ）
			高校 ・ 大学
			高校 ・ 大学
			高校 ・ 大学

※住所は建物名も記入してください。また、住所不明などでお届けできなかったときに電話をおかけしますので、繋がりやすい電話番号を記入してください。

FAX(03)3221-7676でも受け付けます。〈このカードは奨学生募集以外には使用しません〉 2021.4 高校

1. 事業の目的

あしなが育英会は、保護者（父または母など）が病気や災害（道路上の交通事故を除く）、自死（自殺）などで死亡、または著しい障害を負っている家庭の子どもたちに奨学金を交付して、進学援助を行うと共に教育指導と心のケアを行い、もって「暖かい心」「広い視野」「行動力」「国際性」を兼ね備え人類社会に貢献する人材を育成することを目的としています。

2. 設立のいきさつ

あしなが育英会は、同じ境遇の遺児たちによる街頭募金などの“汗”と、市民のあたたかい“心”によって発足しました。1984年、街頭募金やあしながさん（継続的なご寄付者）の支援によって進学できた交通遺児たちは、「恩返し運動」で災害遺児育英運動を開始し、1988年から「災害遺児の高校進学をすすめる会」による奨学金制度を発足させました。

さらに、進学できた災害遺児が中心となり、病気遺児たちの奨学金制度づくりに取り組み、1992年4月に「病気遺児の高校進学を支援する会」による奨学金制度が発足しました。1993年4月、両会は合併し新しく「あしなが育英会」（玉井義臣会長）としてスタートしました。これによりすべての遺児（交通遺児は、交通遺児育英会を利用）の育英制度が整うこととなりました。

2018年4月より発足以来初めての奨学金給付制度を開始し、2019年4月からは事業拡大に伴い「任意団体」から「一般財団法人」へ移行しました。

3. 実績等

1988年4月以来33年間で5万2千人に累計590億円の奨学金を交付しました。

2020年度は新規に高等学校・高等専門学校生1,840人、大学生926人、専修・各種学校生377人、大学院生28人の計3,171人を奨学生として採用しました。奨学生数は前年から1,211人増加し、年間で7,777人に約57億円の奨学金を交付しました。（2021年2月10日現在）。

奨学金の他に、神戸、東京、仙台、石巻、陸前高田の「レインボーハウス（虹の家）」では、小中学生の遺児や保護者に対する心のケア活動を実施。夏休みの「奨学生のつどい」では、高校生、大学生、専門学校生らに対する教育事業を行っています。

また、学生寮「あしなが心塾」（東京都日野市）と「虹の心塾」（兵庫県神戸市）を運営しています。生活困窮世帯の遺児でも大学進学できるよう、朝夕食付で寮費は1万円です。

4. 奨学生の種類・月額・募集人数＝2021年度

奨学生の種類		月額	募集人数
高等学校奨学生 (高専1～3年生を含む)	国公立	4万5千円(内 貸与2万5千円・給付2万円)	予約(中3生) 1,200人
	私立	5万円(内 貸与3万円・給付2万円)	在学(全学年) 750人
大学奨学生 (短期大学を含む)	一般	7万円(内 貸与4万円・給付3万円)	予約(高3生) 600人
	特別	8万円(内 貸与5万円・給付3万円)	在学(全学年) 500人
専修・各種学校奨学生 (高専4,5年生を含む)	一律	7万円(内 貸与4万円・給付3万円)	在学(全学年) 100人
大学院奨学生	一律	12万円(内 貸与8万円・給付4万円)	(前・後期1年生) 50人

※私立高校入学一時金(貸与30万円)・・・高校奨学生予約採用者対象(300人)

※私立大学入学一時金(貸与40万円)・・・大学奨学生予約採用者対象(230人)

※進学仕度一時金(40万円)・・・進学予定の高校奨学生3年生対象に貸与(550人)

5. 奨学生採用の条件

保護者が病気や災害（道路上の交通事故を除く）、自死（自殺）などで死亡、または1～5級の障がい認定を受けており、経済的な援助を必要している25歳以下の子ども（※）で、次の条件に該当するもの。

- (1) 高等学校奨学生は、高等学校、高等専門学校、特別支援学校高等部、3年制の専修学校高等課程（大学受験資格を取得できる）に在学する生徒であること。
- (2) 大学奨学生は、大学または短期大学に在学する学生であること。
- (3) 専修学校および各種学校奨学生は、修業年限1年以上の専修学校専門課程または各種学校（無認可校は対象外）、または高等専門学校の4・5年生に在学する生徒であること。

※ 1996年（平成8年）4月2日以降に生まれた方

6. 奨学金の返還

奨学金のうち貸与部分は、送金が終了した6か月後から、年1回・半年に1回・毎月のいずれかの方法で20年以内に無利子で返還していただきます。返還が困難な方の相談も随時受け付けています。

7. 奨学生のつどい

(1) 高校奨学生のつどい

高校奨学生を対象に2泊3日の日程で夏休みに開催しています（全国8会場）。野外活動や語り合いなどを通しての仲間づくり、進路や夢について考えるプログラムも設けています。

(2) 大学奨学生、専修・各種学校奨学生のつどい

全国の大学および専修・各種学校奨学生1～2年生を対象に夏休みに開催します。卒業生や著名人の講演などもあり、より良い学生生活を送るためにどうするかを考える機会になっています。

8. 機関紙「NEW あしながファミリー」・ホームページ

本会の活動状況、先輩の社会体験、お母さん方の様子、奨学生が学校や家庭で頑張っている様子などを満載した全国の奨学生・保護者とご支援者と本会を結ぶ「心の交流新聞」です。

また、ホームページ www.ashinaga.org でもさまざまな情報発信をしています。

9. レインボーハウス（神戸・東京・仙台・石巻・陸前高田）活動

神戸と東京の「レインボーハウス」では、遺児とその家族の心を癒す活動を続けています。

2011年3月の東日本大震災の遺児には、特別一時金として282万円を2,083人に給付。仙台・石巻・陸前高田に「レインボーハウス」を2014年度に開設し、ケア活動をすすめています。

10. 学生寮「あしなが心塾」（東京）・「虹の心塾」（神戸）

「あしなが心塾（東京都日野市）」と「虹の心塾（兵庫県神戸市）」の2つの学生寮を運営しています。寮（塾）費は、家具・寝具など完備で光熱費なども含め朝夕の2食付きで月1万円です。塾生たちが将来、厳しい格差社会を生き抜き、「世のため、人のため」に貢献する人材に育つようにとの期待を込め、塾には、挨拶・礼儀・規律を重んじるルールや、実力を養成する独自のカリキュラムがあります。収容人員は「あしなが心塾」180人、「虹の心塾」50人です。

お問い合わせ 一般財団法人あしなが育英会

〒102-8639 東京都千代田区平河町 2-7-5 砂防会館 4階

電話（03）3221-0888 FAX 03-3221-7676 www.ashinaga.org